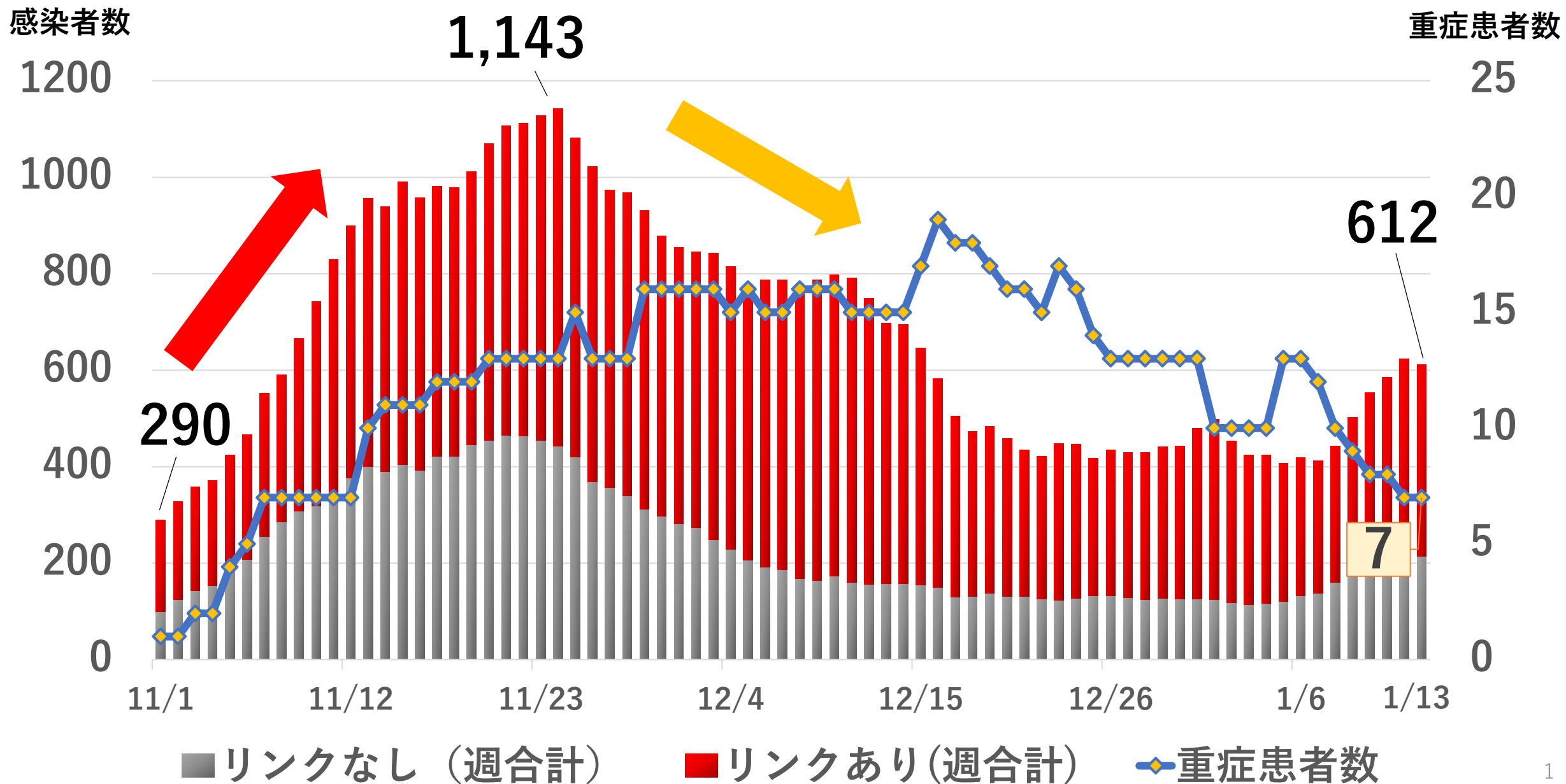


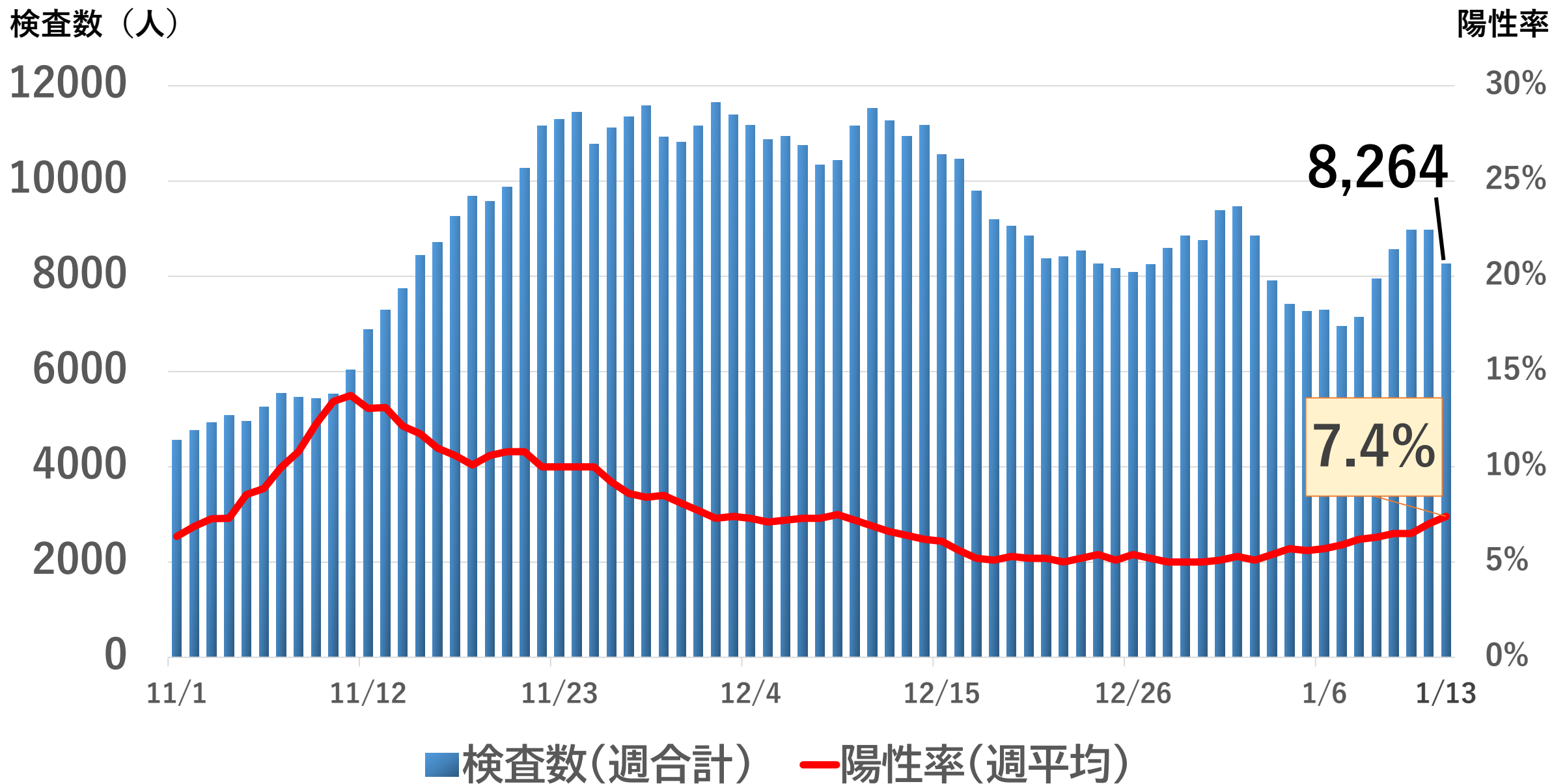
札幌市の感染状況について

令和 3 年 1 月 14 日
札幌市保健所

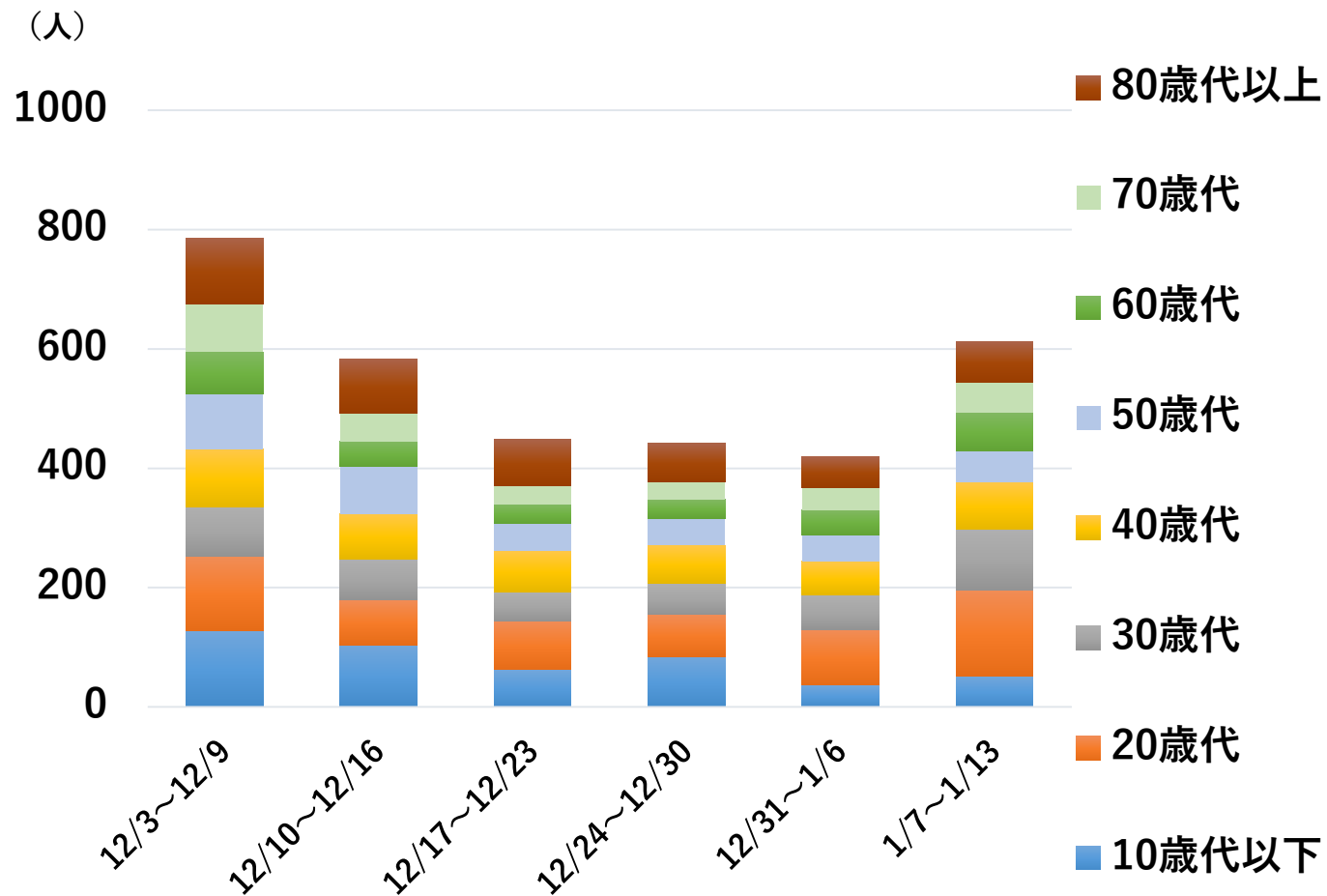
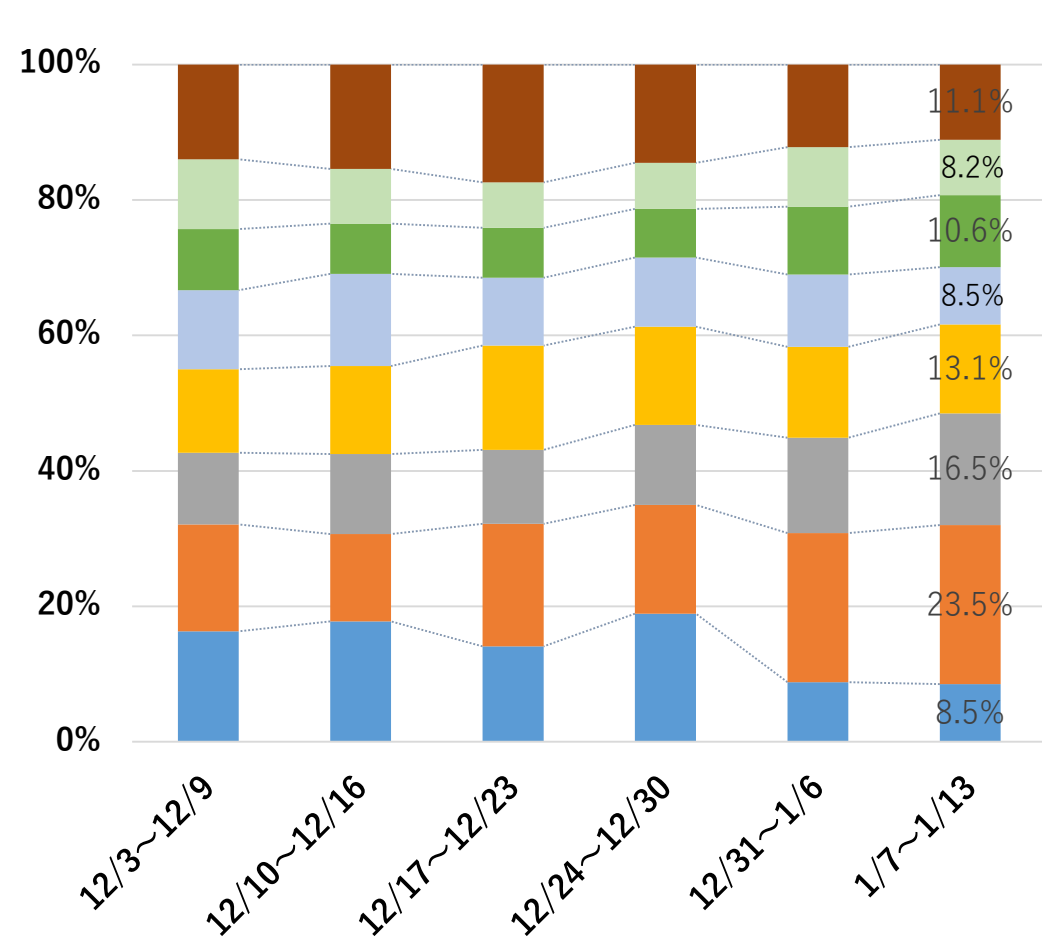
新規感染者数と重症患者数の推移



市内検査数と陽性率の推移



市内年齢別感染者数の割合



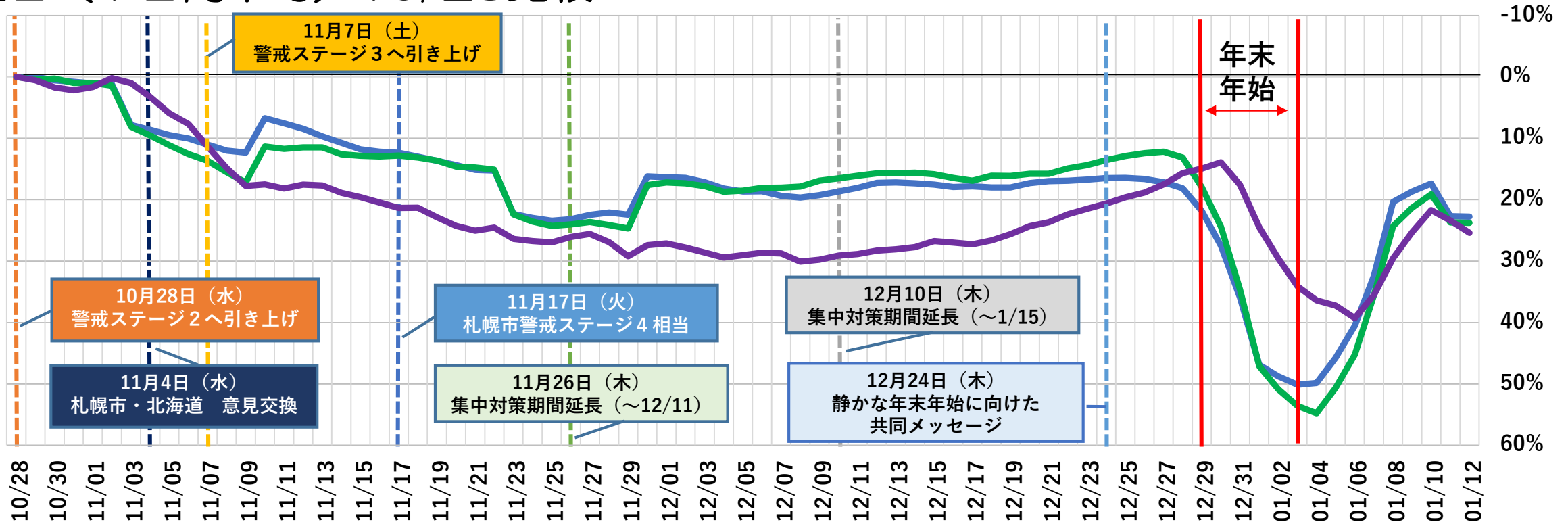
➤ 12月下旬から、40代以下の若い世代に感染の広がりが見られる状況

警戒ステージ2以降の人流の削減率① 都心部

全日（7日間平均）10/28比較

—札幌駅 —大通駅 —すすきの駅

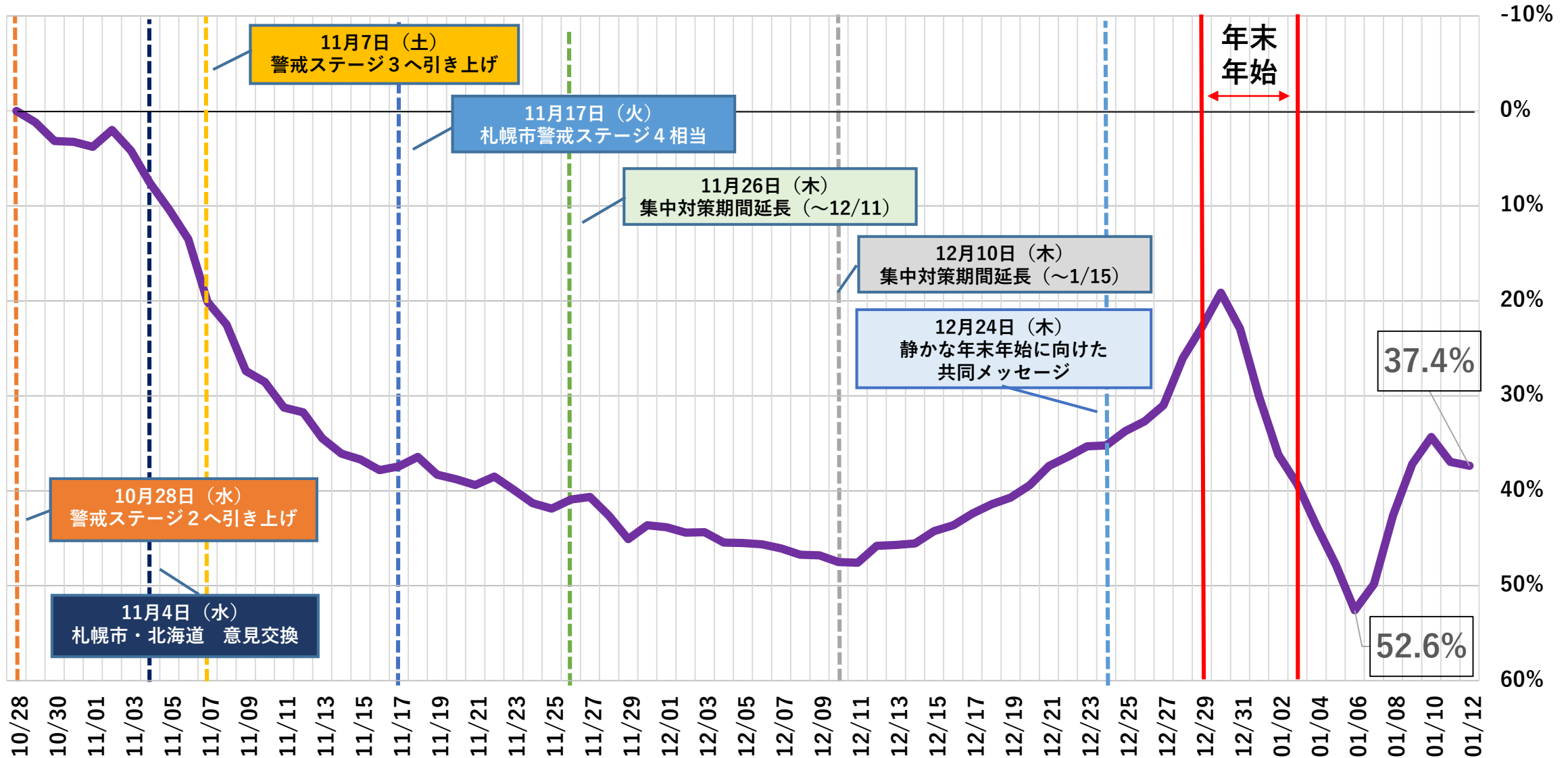
※Agoop社提供データを元に作成



- 札幌駅・大通駅の人の動きは、すすきの駅より削減率が低く推移しており、年末年始の休暇明けから増加傾向にある。
- 人との接触機会が増加すると、感染リスクが高まる恐れがあることから、感染防止対策の徹底が必要。

警戒ステージ2以降の人流の削減率② すすきの夜間

午後10時時点（7日間平均） 10/28比較



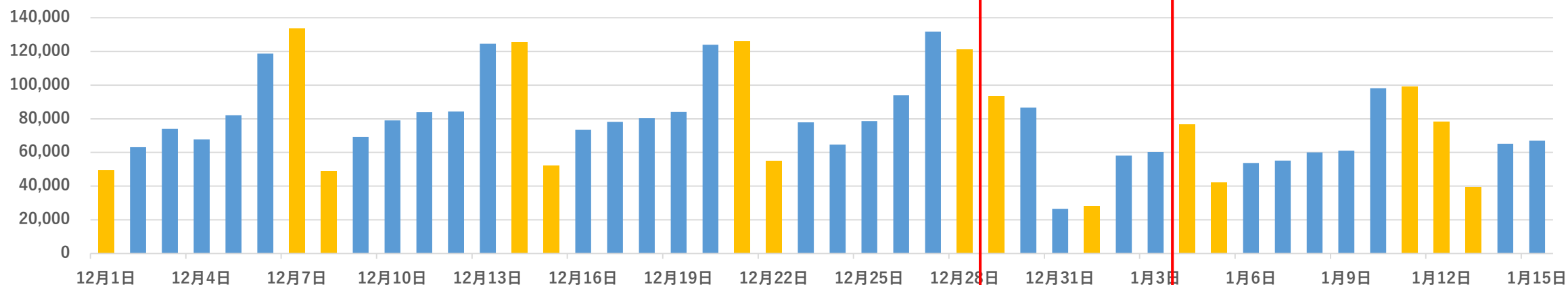
※Agoop社提供データを元に作成

人流の前年度比較（すすきの・12月～）

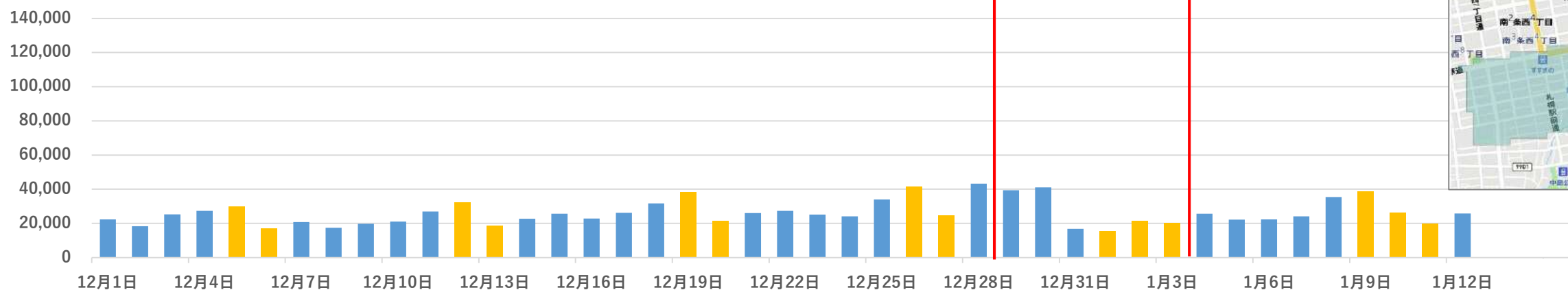
午後10時時点 前年同時期との比較

※Agoop社提供データを元に作成

2019年度

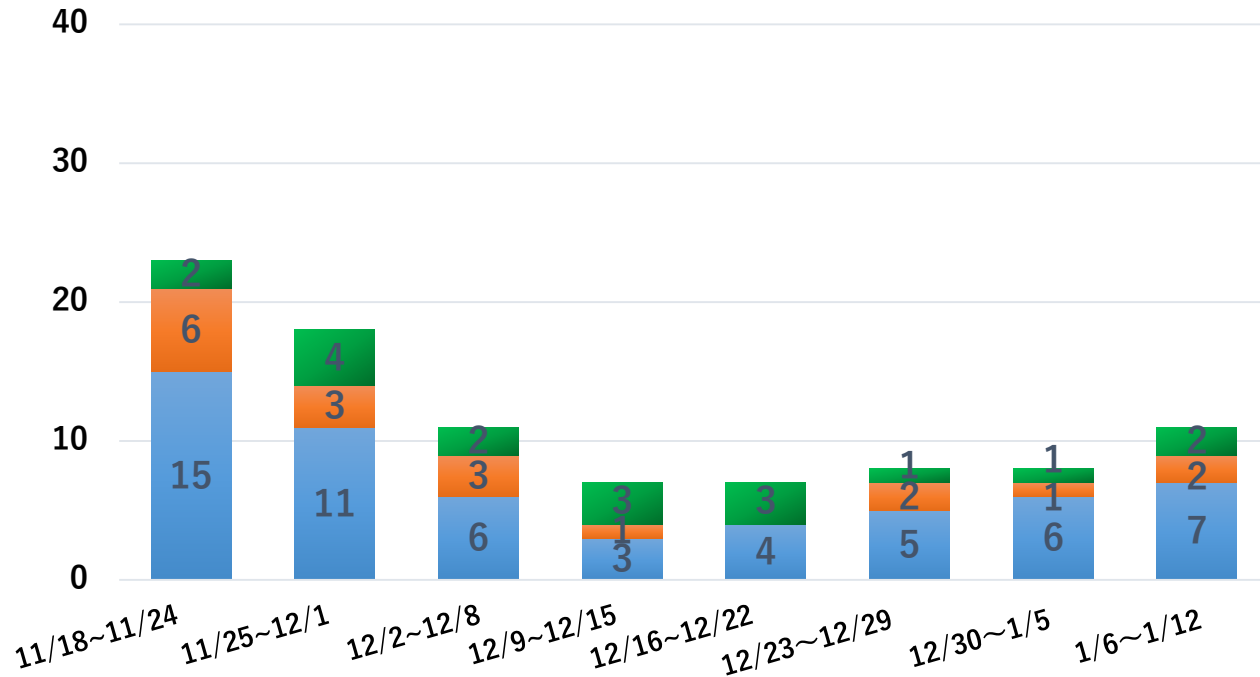


2020年度

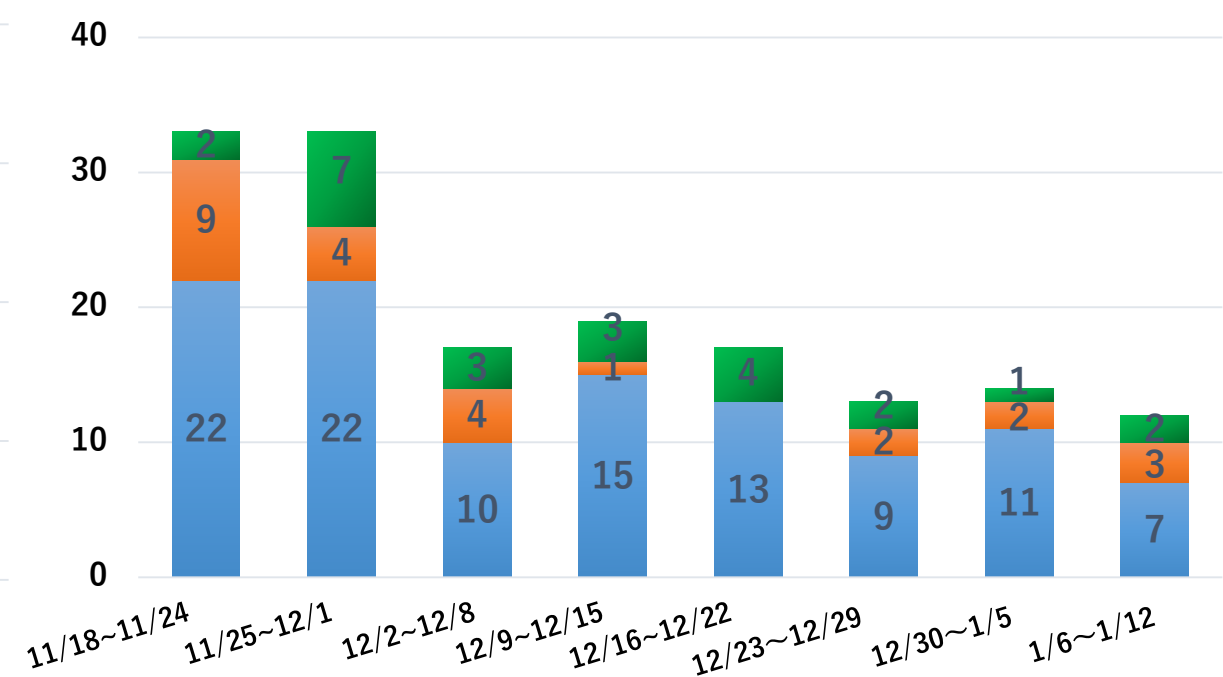


営業時間短縮要請施設等における感染状況

(件) 発生店舗数推移



(人) 感染者数



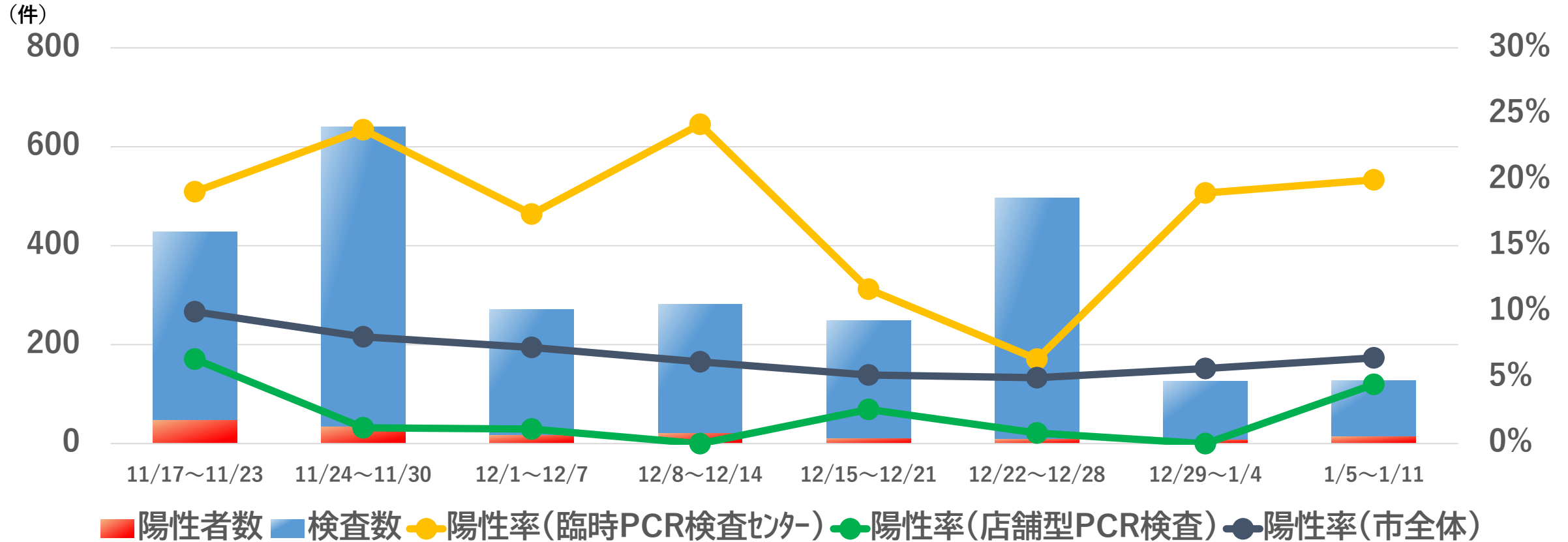
①接待飲食店等 ②酒提供飲食店等 ③酒類提供料理店等

※ ①ニュークラブ、ホストクラブ等 ②バー、ナイトクラブ等 ③居酒屋、ラーメン店、そば屋等

➤ 12月下旬以降、発生店舗数及び感染者数は横ばいで推移。一定数の感染者の発生が続いていることから、増加に転じることを防がなければならない

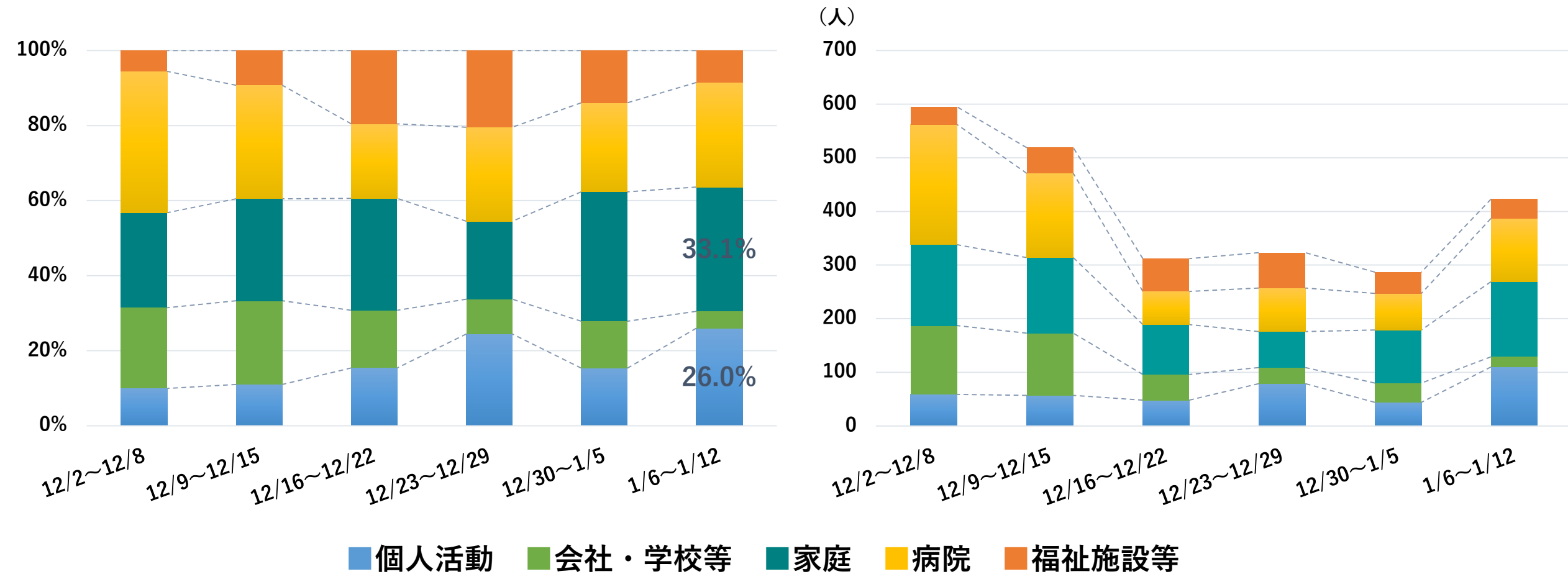
すすきの地区の重点的検査の状況

※臨時PCR検査センター及び店舗型PCR検査での検査数・陽性者数の合計



- 11月と比較すると陽性者数は減少しているが、臨時PCR検査センターの陽性率は高い傾向が続いており、重点的検査により、引き続き感染状況を警戒していく必要がある状況

市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



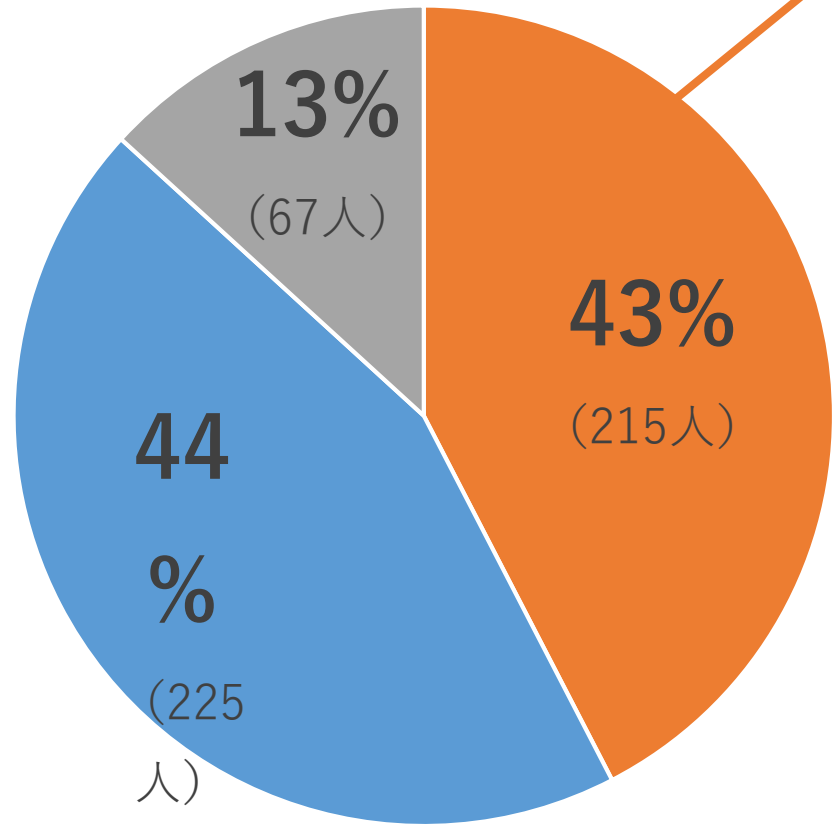
➤ 個人活動や家庭を経路とする感染が増加。年末年始の会食（家での飲食含む）や帰省といった共通の行動歴もみられている。

年始における新規感染者の行動傾向

【複数の人との飲食を伴う行動】

(1/1～1/8 : 507名)

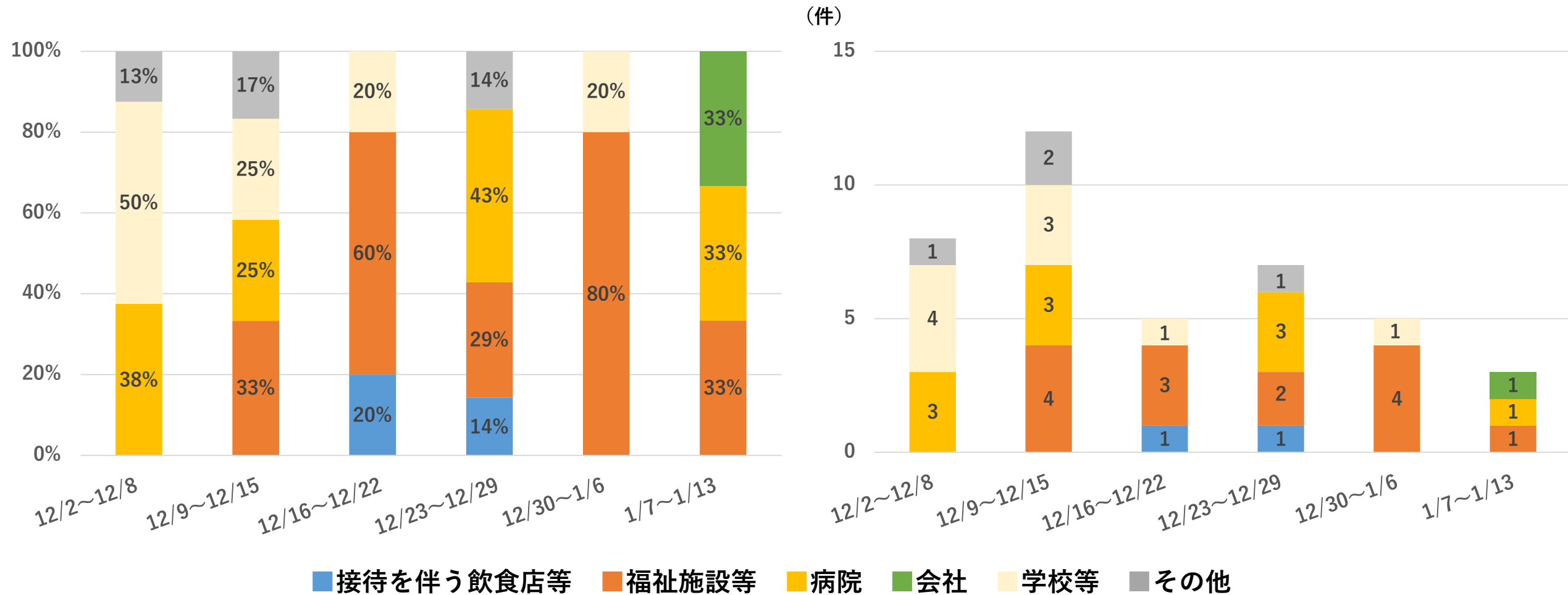
□ 飲食の相手（複数選択あり）



■ 飲食あり ■ 飲食なし ■ 不明

	リンク無し	リンクあり
普段は別に暮らしている		
同居家族以外	93件 (75.6%)	98件 (56.0%)
別居家族	21件 (17.0%)	28件 (16.0%)
親戚	12件 (9.8%)	10件 (5.7%)
友人	48件 (39.0%)	48件 (27.4%)
会社関係者	12件 (9.8%)	12件 (6.9%)
普段から一緒に暮らしている		
同居家族	30件 (24.4%)	77件 (44.0%)

市内集団感染事例



➤ 発生件数は全体的に減少傾向がみられるが、年末年始の休み明けには社会活動が活発になることから、引き続き警戒が必要